

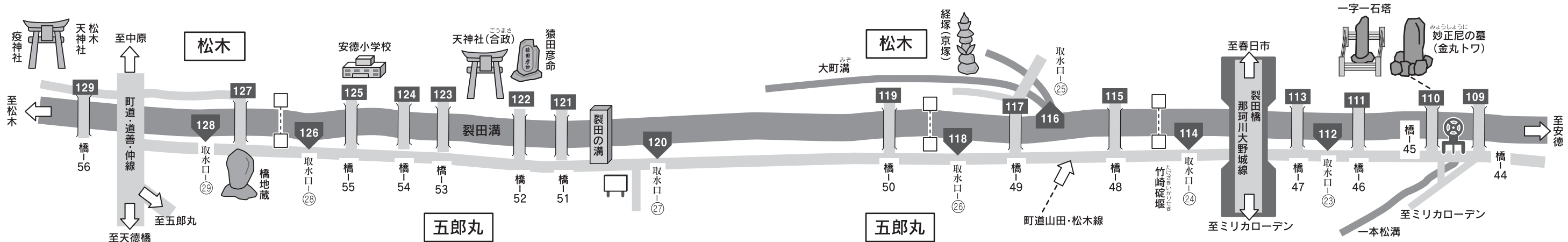
さくたのうなで

裂田溝と周辺の史跡景勝110～128

裂田溝 NO.7(五郎丸・松木地区)

No.	地域	No.	コースメモ		No.	史跡メモ
探訪 109 裂田溝 36	五郎丸東側周辺	110	橋－45（妙正尼の墓へ）	111	橋－46	・ みょうしょうに 妙正尼（金丸トワ）墓 はか
		112	取水口－（23）	113	橋－47	・ みょうほうれんげきょう 妙法蓮華経 いち じ いっ せきとう 一字一石塔
		114	取水口－（24）松木への堰あり（竹崎碓堰） たけざきいかりせき		・	お地藏さん
					・	裂田橋（平成20年10月3日開通）

No.	地域	No.	コースメモ	No.	史跡メモ	
探訪 110 裂田溝 37	松木地区周辺	115	橋ー48(現在使用無し)	・	エゲ古墳(割竹形木棺と四獣形鏡)(4世紀後半)	
		116	取水口ー(25) 松木へ	・	カクチガ浦遺跡群(氷室出土)(弥生～平安時代)	
		117	橋ー49(松木へ)	・	経塚(五輪の塔)	・ 裂田溝標識柱・説明版
		118	取水口ー(26)	・	天神社(合政)	・ 猿田彦命(合政)
		119	橋ー50(幼稚園へ)	・	忠霊塔(安德村) 昭和30年建立	・ 天神社(松木)
		120	取水口ー(27) 裂田溝標柱側	・	天神社・疫神社(天神社境内)	・ 猿田彦命(松木)
		121	橋ー51	・	サイホン式水路(瀬戸)	
		122	橋ー52(合政の天神社へ)			
		123	橋ー53			
		124	橋ー54			
探訪 111 裂田溝 38	五郎丸地区周辺	125	橋ー55(安德小 裏門)			
		126	取水口ー(28)	・	橋地藏(長2m 幅1m60cm)	・ 子安観音(那珂川八十八ヶ所83番札所)
		127	橋ー56(橋地藏 前)	・	薬師如来(那珂川八十八ヶ所82番札所)	・ 七天神
		128	取水口ー(29) 五郎丸区へ	・	天神社(五郎丸)	・ 猿田彦大神(天神社境内) (天保五年三月吉辰ー1834)
				・	ふじさきじん ごろう 藤崎甚五郎碑(天神社境内)(田舎段式畝歩)と刻印	
				・	しょうかんのん 聖観音(那珂川八十八ヶ所81番札所)	
				・	水車跡(足踏み)	・ さや 塞の神(那珂の森保育園前)



探訪 120



那珂川町郷土史研究会



裂田溝47

散策コース表(7)

那珂川町では、農業用水を確保するための、農家の知恵と苦心の跡が、各所に残っています。その一つが安德の『うそん谷の水路(くり抜きトンネル)』です。他にも『サイホン式吹上用水路』が梶原川沿いの松木にあります。

今回紹介する『仕掛水路吹き上げ(円形分水口)』は、松木に建設中の九州新幹線橋脚工事現場近くで発見されました。この水路は大正の頃、中原にお住まいの木工さんが造られたものです。県からの補助金ももらって、稲刈りが終わる秋から翌年の3月までの期間、人の力だけで、3年がかりで完成し

①写真は撮影日がはっきりしていませんが、大正初め頃の「ヤンバラ池」から大塚の桐の木畑付近への水路工事だと考えられます。中央の女性2人が、水車(足踏み)を踏んでいる姿が珍しいです。



たそうです。新幹線が開業された昭和50年頃まで使われていたのではないかと聞いています。『円形分水口』は、近郷では珍しい施設です。ぜひ保存していただきたいと願っています。

次号は最終回 散策コース表(8)を紹介します。



②仕掛水路吹き上げ(円形分水口) 設置箇所は松木区ですが、当時の水利権は中原区が持っていました。取水された水は円形分水口に入り、土中のトンネルを抜けて中原池へ流れていました。



③仕掛水路吹き上げ(円形分水口) への取水管です。